



メディアリリース

訂正

報道関係各位

2023年8月3日(木)

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

第21回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権 開催決定

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社（東京都港区、代表取締役社長兼チーフエグゼクティブオフィサー:安淵聖司）と、NPO 法人日本ブラインドサッカー協会（東京都新宿区、理事長:塩嶋史郎、以下 JBFA）は、「第21回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」を、2023年11月～2024年3月にわたって開催することを決定しました。

ブラインドサッカー日本選手権は、2003年に第1回大会を開催し、今回で21回目の開催となります。今回予選会場の一つとなっている愛知県で日本選手権を開催するのは、今回が初となります（中日本リーグは開催実績有り）。愛知県では、2026年にアジア・アジアパラ競技大会の開催が予定されており、スポーツへの関心のより一層の高まりが期待されるエリアです。また FINAL ラウンドでは、全席有料チケット販売での開催を予定しています。

アクサは、コーポレート・レスポンシビリティ（CR：企業の社会的責任）の取り組みの一環として、2006年からブラインドサッカーを支援し、競技環境の整備や集客・認知向上活動の支援、大会へのボランティア派遣を行っています。2013年からは、「弱視（ロービジョン）」のリスク啓発活動もスタートし、国内・国際大会などの会場で「弱視啓発ブース」を設置し、弱視体験眼鏡やパネルを展示しています。また、ソーシャルインクルージョンの啓発を目的とした「スポ育」などの出張授業（学校向け体験授業）を通じて、子どもたちの心に「気づき」や「変化」の種をまく取り組みを行ってきました。アクサ ブレイブカップの協賛をするとともに、「アクサ 地域リーダープログラム with ブラサカ」では、クラブチームの立ち上げ期のサポート等を行なっています。アクサと JBFA は、今後もブラインドサッカーの普及、視覚障がいに対する社会的な認知と理解の浸透、「当たり前」に混ざり合う社会の実現を目指してともに取り組んでまいります。

●大会概要

- ・大会名：第21回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権
<http://axa-bravecup.b-soccer.jp/>
- ・大会愛称：アクサ ブレイブカップ
- ・日程および会場
＜予選ラウンド＞
 - ・2023年11月18日（土）、19日（日）（会場：東京フットボールセンター八王子富士森競技場（東京都八王子市））
 - ・2023年11月25日（土）、26日（日）（会場：名古屋経済大学高蔵高等学校（愛知県名古屋市））＜準決勝ラウンド＞
 - ・2023年12月3日（日）（会場：サーラグリーンフィールド（浜北平口サッカー場）（静岡県浜松市））＜FINAL ラウンド＞
 - ・2024年3月9日（土）（会場：町田市立総合体育館（東京都町田市））
- ・主催：NPO 法人日本ブラインドサッカー協会
- ・メインサポーター：アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社
- ・共催：浜松市（準決勝ラウンド）

・大会形式：予選ラウンドを全国2会場で開催し、勝ち上がった10チームが準決勝ラウンドに進出。FINALラウンドで、決勝戦および3位決定戦を行う。

●アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社について（本社：東京都港区、代表取締役社長兼チーフエグゼクティブオフィサー：安淵聖司）

アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサのメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険（アクサダイレクト）、アクサダイレクト生命の3社を擁しています。

●NPO 法人日本ブラインドサッカー協会について

JBFAは、ブラインドサッカー及びロービジョンフットサルを統括する中央競技団体で、「視覚障がい者と健常者が当たり前になり混ざり合う社会の実現」をビジョンに掲げ活動しています。競技普及・強化活動と並行して、競技特性を活かした健常者向けのダイバーシティ教育プログラムを展開しています。2018年度朝日スポーツ賞受賞。詳しくは、弊社ホームページ (<https://www.b-soccer.jp>) をご覧ください。

お問い合わせ先

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会 広報室

E-mail: media@b-soccer.jp 電話番号：03-6908-8907

協会ウェブサイト：<https://www.b-soccer.jp>

住所：〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 ペアーズビル3階